

2005年3月期 決算説明会

今期(2006年3月期)の経営施策

Reliability No.1プロジェクト・カンパニーへ
収益成長型のエクセレント・カンパニーへ

2005年5月18日

取締役社長 関 誠夫



千代田化工建設株式会社

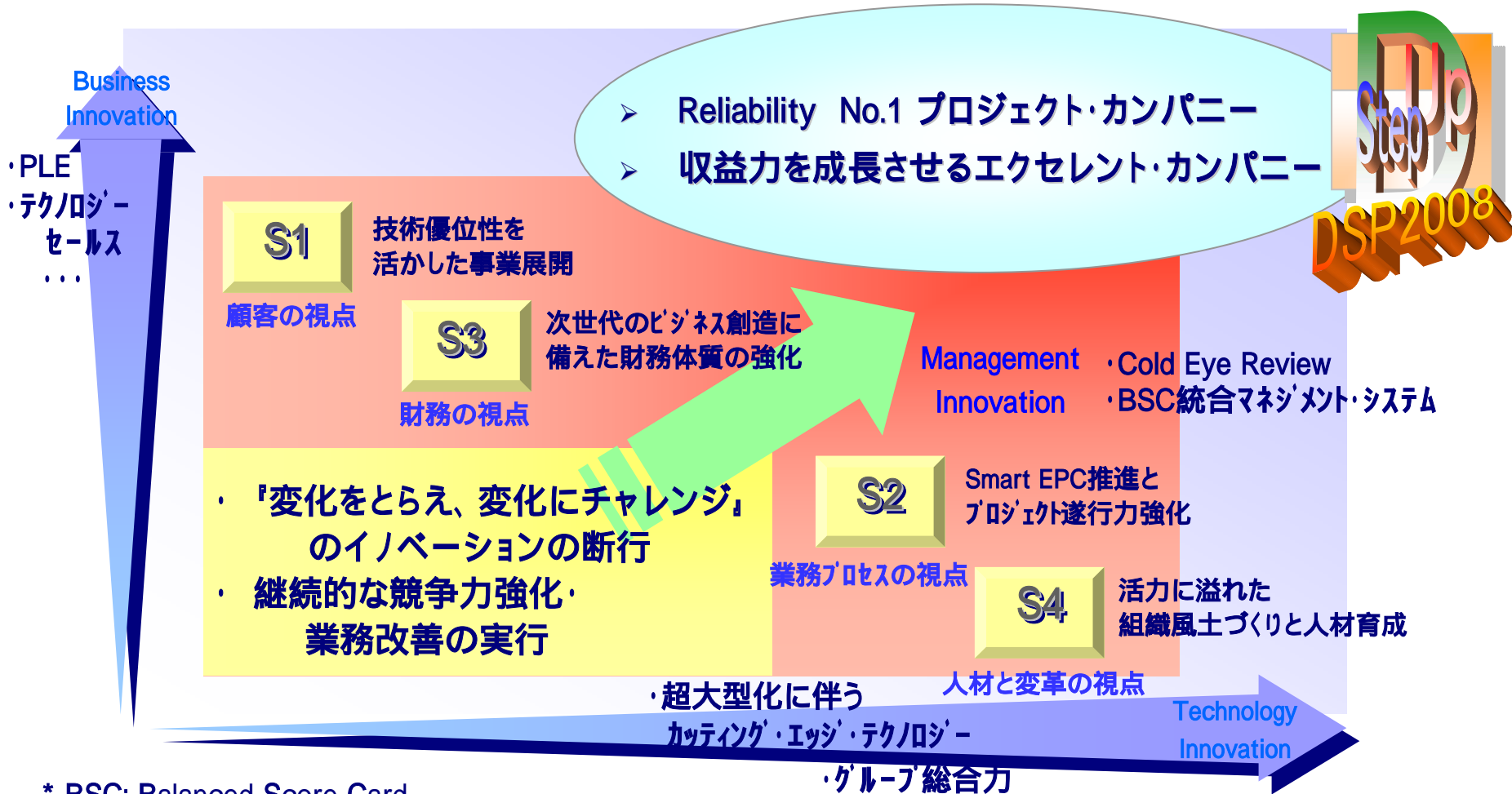
目次

1. **DSP(ダブル・ステップアップ・プラン)2008
を今期本格軌道へ**
2. **マーケットの見通し**
3. **Reliability No.1 および 収益成長企業
を目指した重点施策**
4. **まとめ**

1

DSP2008を今期本格軌道へ

自助努力を重ねて、“収益成長企業”として、企業価値の更なる向上を図る



* BSC: Balanced Score Card

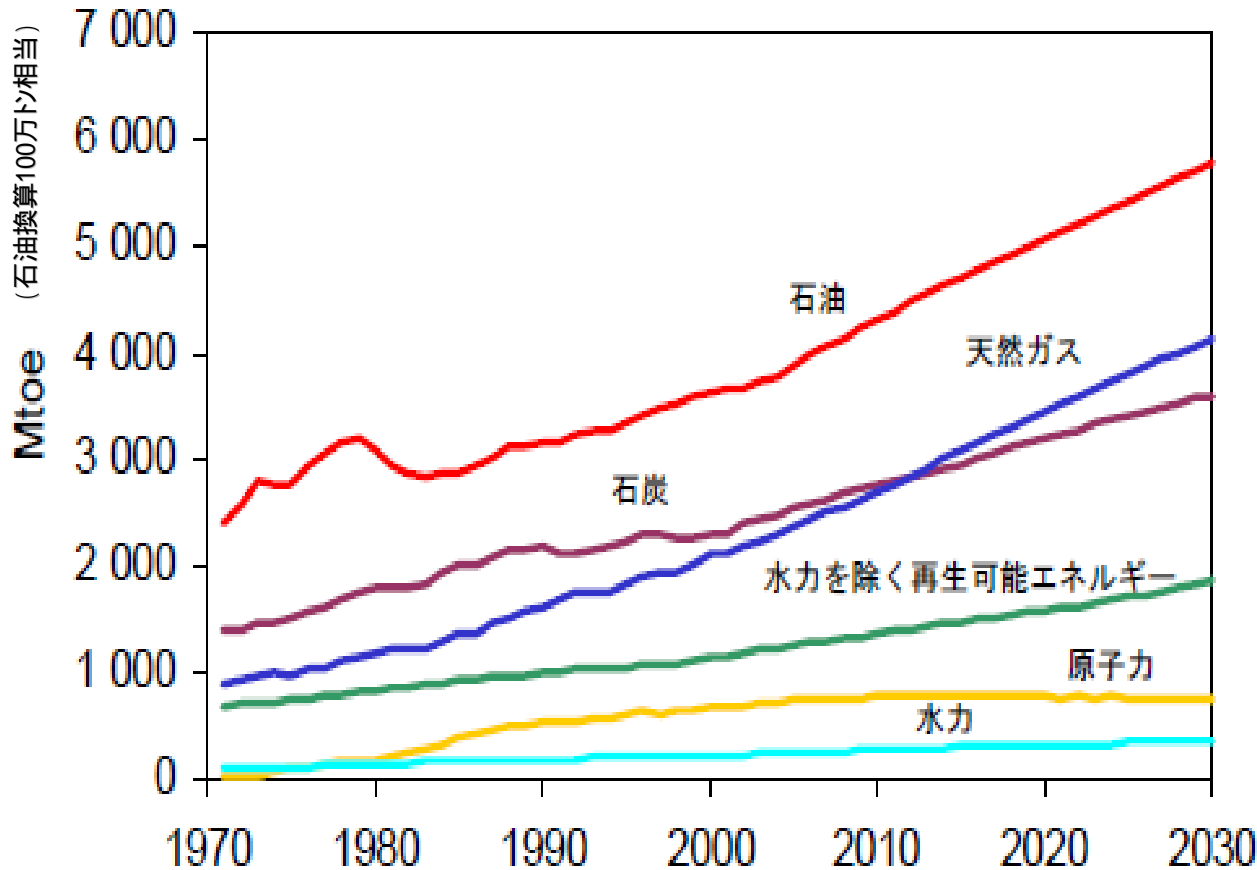
2

マーケットの見通し

エネルギー需要との関連などで、市場は活発

<世界のエネルギー需要の見通し(IEA)>

= 当社のマーケット見通し =



石油 : 国内
 投資が活発化
 高付加価値化
 ケミカル・リファイナリ・インテグレーション
 Plant Lifecycle Engineering
 和製メジャー

天然ガス : 海外
 世界的なLNGブーム
 随伴ガス利用の大型ガス・ケミカル
 新クリーン・エナジー: GTL等の市場成長

石炭 : 海外
 石炭需要拡大と環境規制強化
 排煙脱硫需要拡大
 ビジネスモデルの変革
 CT121ライセンス・ビジネス

Reliability No.1の確立のためのKey Performance Factor**(1) 業務の仕組み、人材の確保：**

- + 卓越した技術力・プロジェクト遂行力 (SmartEPC)
- + リスク管理能力 (Cold Eye Review, Project Audit)
- + プロフェッショナル人材 (PKP育成システム)
- + 統合エンジニアリングシステムi-Plant21などの先端IT等
- + 業務管理システム / プロセスアプローチ (BSC統合マネジメント)

(2) 更なる継続施策の実行：

- + 備えたシステムを活かし、着実な遂行チェックによる信頼性の実現!!
- + Technical Cold Eye Review, Project Management Reviewなどの強化!!
- + 顧客との統合Review / 協働

収益成長のためのKey Performance Factor

(1) 全てのプロジェクトにおいて、自助努力により、受注粗利益を上回る完工粗利益をあげる。

何事も簡単に諦めず、安易に妥協せず、もう一步突っ込んで納得いく結論を追求する。

(2) 背伸びはしない。やるべきことをきっちりとやり遂げる。

S1

技術優位性を活かした事業展開

経験実績と技術力による大型プラント市場の確保 (Lager, Faster, Safer)

Snøhvit LNG (Melkøya Island) - Norway

4.5 MMTPA x 1
2006 - 2007

ELNG T 1/2 - Egypt

3.6 MMTPA x 2
2007+

NLNG (Bonny Isl.) T4/5 - Nigeria

4.0 MMTPA x 2
2005

RasGas II Tr-4 - Qatar

4.7 MMTPA x 1
2005

RasGas II Tr-5 - Qatar

4.7 MMTPA x 1
2007

Oatargas II Tr-4/5 - Qatar

7.8 MMTPA x 2
2007 / 2008

Sakhalin II - Russia

4.8 MMTPA x 2
2007 / 2008

Qalhat LNG - Oman

3.3 MMTPA x 1
2005

Darwin LNG - Australia

3.0 MMTPA x 1
2006

NWS T5 - Australia

4.2 MMTPA x 1
2008

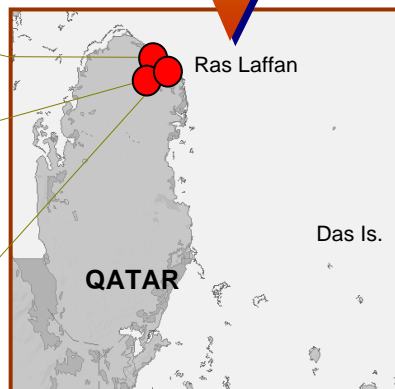
建設中のLNGプラント

2005年4月現在

千代田案件合計Capacity 37.9

= 49%

Total Capacity 77.6



S1

技術優位性を活かした事業展開 (続き) カタールでの大型投資プロジェクト

印は当社受注実績案件



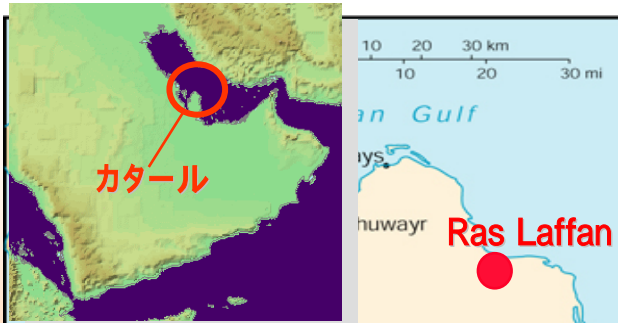
QATARGAS, QATARGAS 2



ExxonMobil



- Train 1 EPC (1997) (稼動)
 - Train 2 EPC (1997) (稼動)
 - Train 3 EPC (1998) (稼動)
 - Train 1/2/3 Debottlenecking (2005) (稼動)
 - Train 4 EPC (2007) 780 (建設中)
 - Train 5 EPC (2009) 780 (建設中)
- LNG 2,630万トン**



2011年までに
7,700万トン/年の
LNG輸出計画発表



Qatar Petroleum
共用冷却水供給プロジェクト EP (2004)
共用冷却水供給(拡張)



RasGas, RasGas



- Train 1 FEED
 - Train 2 FEED } 660 (稼動)
 - Train 3 EPC (2003) 470 (稼動)
 - Train 4 EPC (2005) 470 (建設中)
 - Train 5 EPC (2007) 470 (建設中)
- LNG 2,070万トン**

QATARGAS 3



ConocoPhillips

- Train 6 (2009) 780 FEED
- LNG 780万トン(計画)**

RasGas



- Train 6/7 (2008) 780 x 2 FEED
- LNG 1,560万トン(計画)**

QATARGAS 4



- Train 7 (2010) 780 FEED
- LNG 780万トン(計画)**

ExxonMobil
湾岸ガス開発プロジェクト EPC (2006)

GTLプラント



ExxonMobil Sasol Chevron

ConocoPhillips Marathon Oil Corporation

- 独立系水道・発電事業
- ガス化学プラント(エチレン...)
- パイプラインによる輸出事業

"Launching of The World's Largest LNG Project" 2004年12月15日



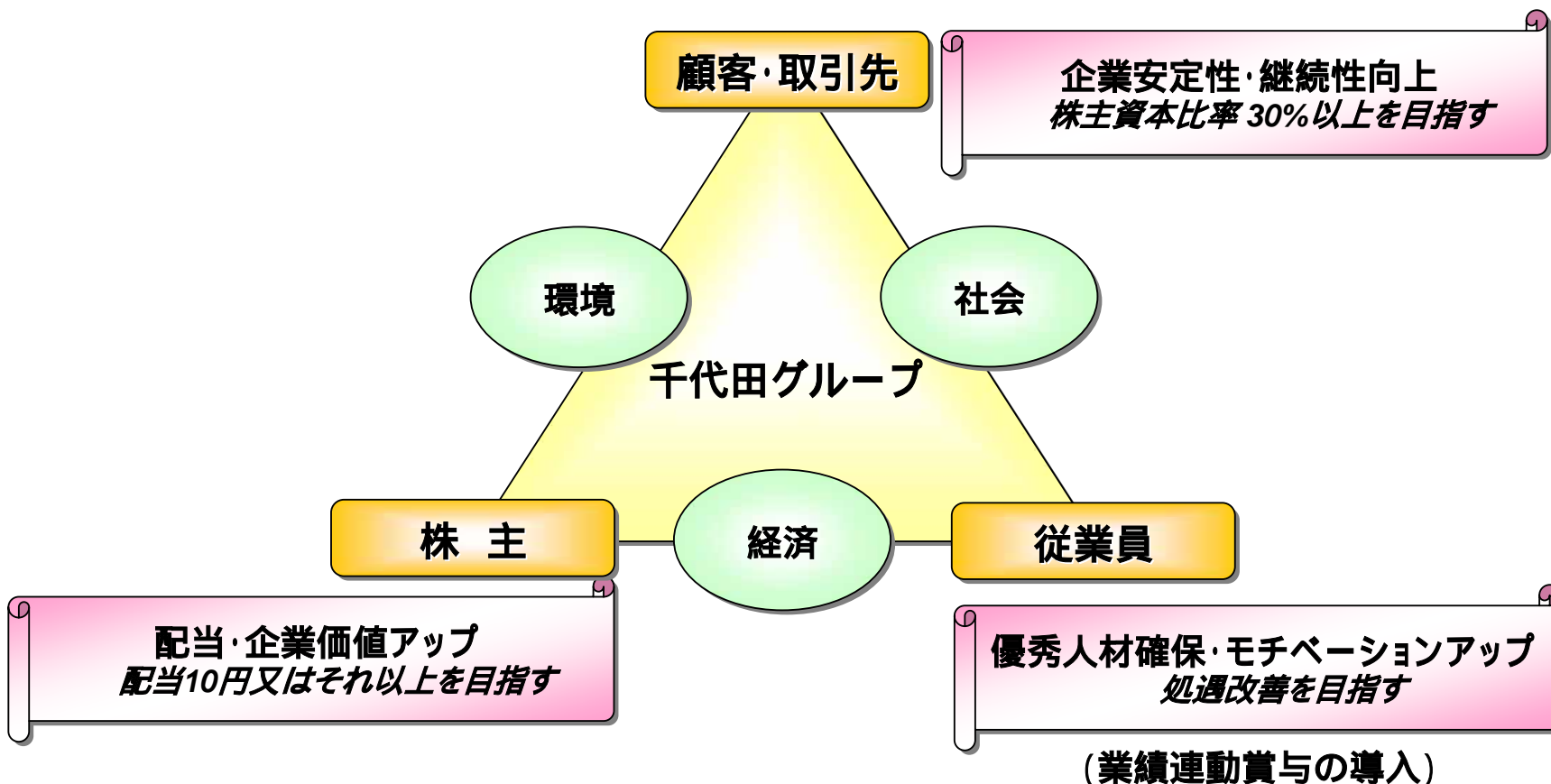
Qatargas()プロジェクトEPC契約調印式風景

カタール国Ras Laffan LNG基地 1系列年産 780万トン×2系列 = 1,560万トン/年 (世界最大)

次世代のビジネス創造に備えた財務体質の強化

体質強化目標

中期経営計画では、ステークホルダーのうち、顧客・取引先、株主、従業員間のバランスの取れた持続的な満足の実現を目指します。



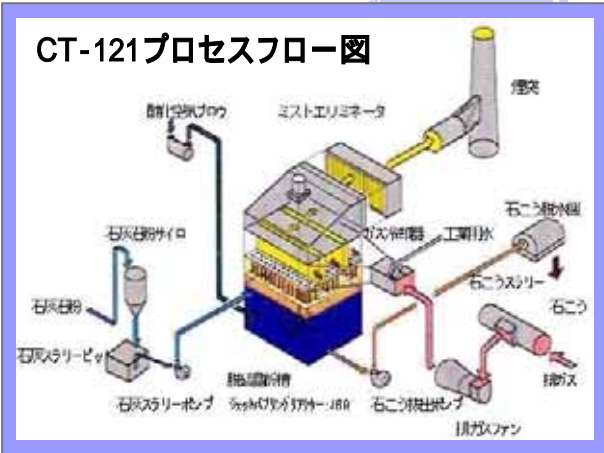
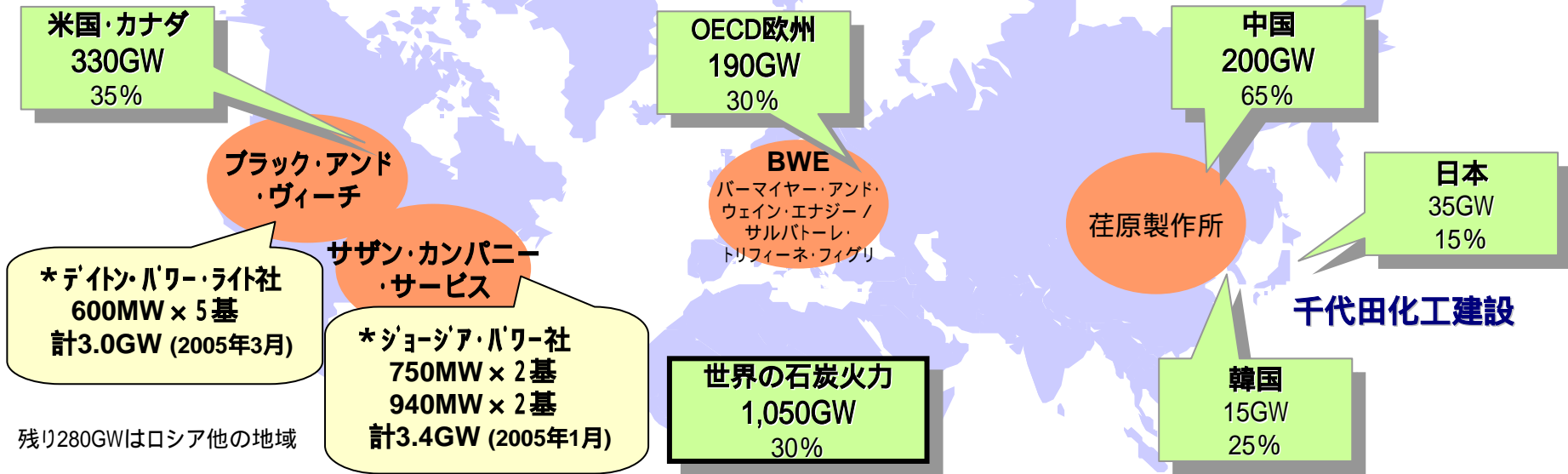
次世代のビジネス創造に備えた財務体質の強化(続き)

収益成長型ビジネスモデルの創出・展開

技術資産を有効に活用し、ライセンス供与で更なる収益強化

石炭火力発電能力、発電比率

CT-121技術供与先及び地域



当社が独自に開発した**湿式石灰・石膏法排煙脱硫プロセス**は、国内外で**50基以上**の実績

SmartEPC推進とプロジェクト遂行力強化

■ コミッショニング部の設置

プロジェクトの終盤、性能確認前に行うコミッショニングを蓄積した技術・ノウハウで顧客へのスムーズな引渡しへ

■ 先進的ITの強化・継続：調達IT、工事IT強化

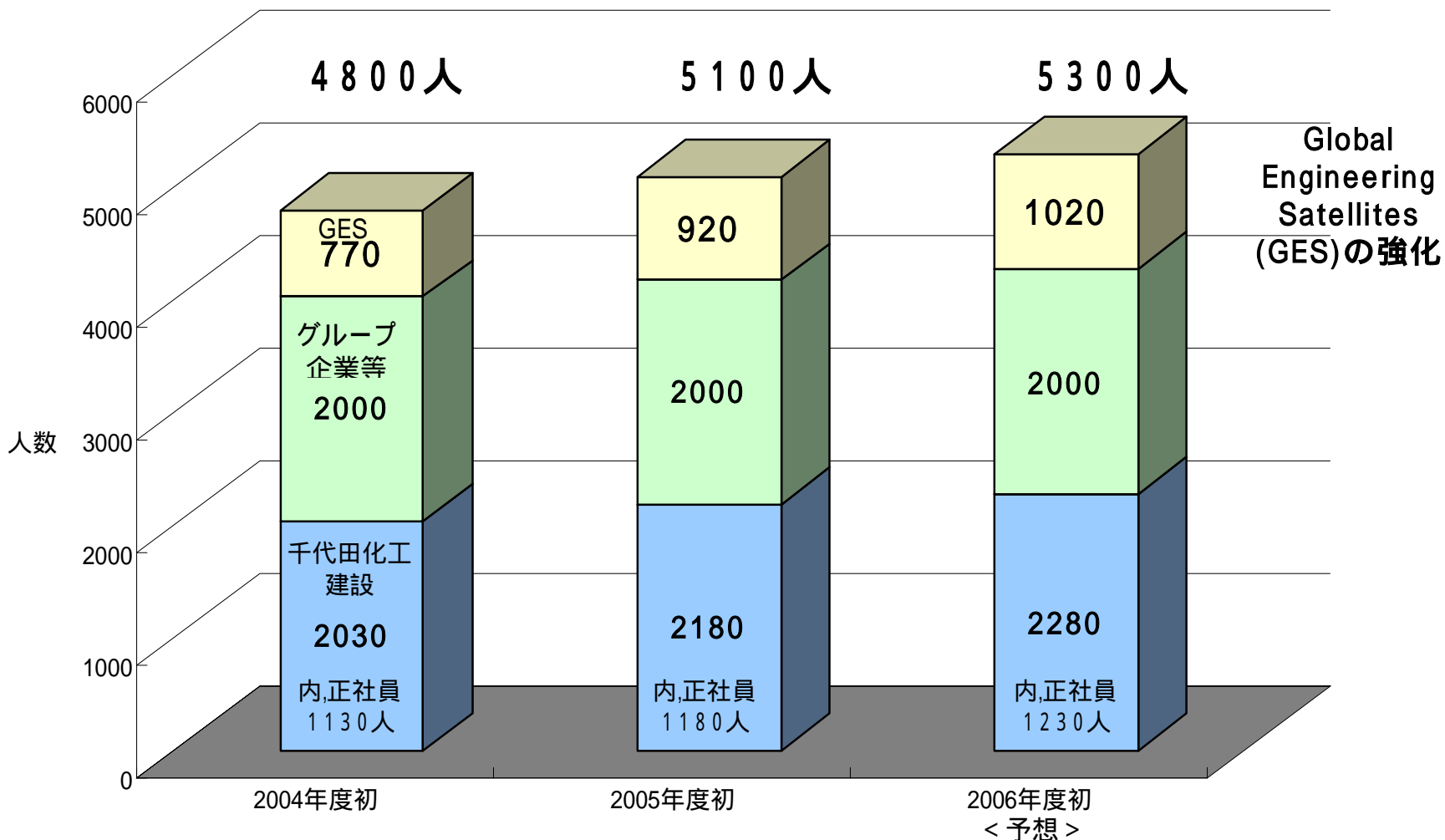
プロジェクト遂行の不確実性を排除し、収益安定化

■ Global Engineering Satellites (GES)の強化

前期に引き続き増員、機能強化

S2 SmartEPC推進とプロジェクト遂行力強化(続き)

グローバル・オペレーション



S4 活力にあふれた組織風土づくりと人材育成

- 業績連動賞与 / 人事制度の改定を実施した。
- プロフェッショナル人材の採用継続
- PKP (Project Key Personnel) の育成・強化
- 技術戦略研究所の設置
 - プラント・エンジニアリング技術、先端プロセス技術の取り込み
 - 技術的な観点からの精査 (Technical Cold Eye Review)
 - 技術基盤の全社、プロジェクト横断的なモニタリング
 - Lessons Learntからの知識創出

Reliability No.1を目指した技術力の維持・向上

- 重点施策に加え、永遠のテーマであるプロフェッショナル人材を育成しつつ、エネルギー・化学部門においてReliability No.1のプロジェクト・カンパニー、収益成長型のエクセレント・カンパニーを目指す。
- 同時に、グループ一丸となって、礼儀正しく、堂々と企業活動を行い、業務遂行を通して、社会的責任(CSR)をしっかりと果たしていく。

【お問い合わせ先/Contact】

千代田化工建設株式会社

〒230-8601 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目12番1号

広報室長兼IRマネジャー 村田 卓弘

IR Manager Takuhiro Murata

TEL 045-506-7538

FAX 045-506-7085

携帯 090-3348-3484

e-Mail [tamurata@ykh.chiyoda.co.jp](mailto:tamura@ykh.chiyoda.co.jp)

URL <http://www.chiyoda-corp.com/>

この資料には、2005年5月18日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。